

平成27年度 実施事業の概要

施設名： 国立妙高青少年自然の家
教育事業名：①妙高アドベンチャー指導者養成研修 ・ ②妙高アドベンチャースキルアップ研修
期間： ① 6月5日(金)～6月7日(日) (2泊3日) 養成研修 ②10月31日(土)～11月1日(日) (1泊2日) スキルアップ研修
対象及び参加人数：②妙高アドベンチャープログラムに興味関心のある方 ②妙高アドベンチャープログラムの指導者として活動している方、または、過去に妙高アドベンチャー指導者養成研修を受講した方
目的： ①②「妙高アドベンチャープログラム」の指導者養成を目的として、そのために必要な知識や指導技術の習得を図る。
事業概要： ①(株)プロジェクトアドベンチャー ジャパントレーナーを指導者として、妙高アドベンチャープログラム指導者として必要な知識や技能を指導していただいた。 ②(株)プロジェクトアドベンチャー ジャパントレーナーを指導者として、妙高アドベンチャープログラム指導者として必要な知識や技能を指導していただいた。 ・ 国立妙高青少年自然の家 伊野所長より、特別支援教育に関する指導をいただいた。 ・ 参加者同士の議論を通して、スキルの向上を図った。
成果： ①参加者は、NPO法人妙高山麓自然体験活動指導者会と連携して、当自然の家の研修指導員として活躍が期待される人にも声をかけ、参加を募った。 ・他県の県立施設や国立施設で活躍している方も数名いる。 ②参加者は、NPO法人妙高山麓自然体験活動指導者会に所属している方々がほとんどで、日頃から指導者として活動している。研修の中で、活発な議論があり、スキルの向上を図ることができた。 ・利用者からのアンケート結果を研修内容に反映し、特別な支援を要する児童生徒に対応するスキルや知識を学ぶことができた。また、指導者複数名が複数のグループを指導する場合の質の均一化に関わる研修を行うことができた。 ・IBをお互いにやってみるなど、互いの指導法を見て、研修を深めた。
課題： ①毎年、参加希望者が増加しているため、研修の質を維持するために講師の増員を検討しなければならない。(参加者1グループで15名程度が望ましいため) ・資格をとって、実際に指導に出た場合の言葉遣いや、子供たちへの接し方など、研修を通年でおこなっていかなければならない内容が多いが、実際はそこまでの余裕がない。 ②参加に対する意識の向上(日頃から指導している方で参加していない方がいる)。 ・研修内容の精選(研修したい内容がたくさんありすぎて、時間が不足している)。